

日田商工会議所 キャッシュレス委員会 議事録

1. 日 時 令和 8 年 7 月 22 日（水） 11:00～

2. 場 所 日田商工会館 4 階 大会議室

3. 出席者

（ 会 頭 ） 瀬戸 亨一郎

（担当副会頭） 谷口 知幸

（ 委 員 長 ） 宮野 大樹

（副委員長） 東 真吾

（ 委 員 ） 飯田 雄二、大塚 智、中山 英明、安田 徳章、中村 広樹、浦中 直也

（事 務 局） 樋口 恒成、大石 昭典、春口 国博、松尾 真理

4. 議事経過

1) 委員長挨拶

- ・ 宮野委員長より開会の挨拶があり、議事が進行された。

2) 議題

○ （１）事業について

① ひた pay について

- ・ 事務局より、第 1 弾「ひた pay」（R8.2.18～R8.6.30）の最終結果が報告され、登録者 15,739 人、利用金額 9 億 6,930 万円に達し、予算の約 97%を消化して大盛況のうちに終了したことが共有された。
- ・ 続いて、第 2 弾「ひた pay」の追加実施に向け、スマートフォンを持たない層向けに「ひた pay カード（QR コード付きプリペイドカード）」を導入する方針が説明された。
- ・ カード導入により、事業者の精算業務や現金管理の手間が省け、完全キャッシュレス化への移行が促進されるメリットが確認された。
- ・ 一方で、利用者がカード残高を把握しにくいと、店舗側から利用者に残高を伝える等の対応が必要であることや、新しい操作に不慣れな事業者向けに利用方法がわかるサポート動画を作成して HP にて掲載する方針が共有された。

② 大村市視察について

- ・ 7 月 24 日（金）に実施される長崎県大村市への合同視察について、スケジュールや事前質問項目などの詳細が共有された。
- ・ 大村市の「中小企業振興基本条例」を活かした地域づくりと官民連携の仕組みを学ぶことを目的とし、行政（日田市役所、西部振興局）や民間団体（同友会等）も交えた産学官の合同視察となることが報告された。
- ・ 移動中のバス内の時間を有効活用して参加者間で事前の意見交換を行うとともに、大村市長も交えた現地でのディスカッションを通じて、実効性のある施策を学ぶ方針が確認された。

○ （２）その他

- ・ 商工会議所としての役割を果たし、より良いキャッシュレスの仕組みづくりのための政策提言

につなげていくため、今後の視察や会議を通じて意見を集約していく必要性が共有された。

- ・ 人口減少や人手不足といった地域課題の解決、および若者の定着やインバウンド等の観光客のニーズに応える手段として、キャッシュレス決済の普及推進が不可欠であるとの強い認識が再確認された。

3) 閉会（まとめ・今後の動向）

- ・ 本委員会では、第1弾「ひた pay」の大きな成果が報告されるとともに、第2弾に向けた「ひた pay カード」導入による完全キャッシュレス化への移行と、それに伴う事業者向けのサポート策が確認された。

- ・ 7月24日の大村市視察を通じて、行政・商工会議所・民間が一体となって「中小企業振興基本条例」を活かした官民連携の仕組みを学び、日田市における今後のキャッシュレス推進や地域課題解決のための政策提言に繋げていくことが全体方針としてまとめられた。

（記録終了）